



本澤 節子 議員

「暴力いじめゼロ大田原市宣言」で子どもを守る取り組みについて

質問（本澤節子 議員）
 こどものいじめを原因とした自殺者を出さないため、大人世代の力を合わせた 市民の命を大切に宣言について伺います。

答弁（保健福祉部長）
 子供の自殺者は、平成27年度版自殺対策白書によると全国で866人おり、小中学生の自殺の原因は、いじめもあります

が家庭生活によるものが多く、学校、家庭、地域が連携して対策にあたるのが重要です。

本市では平成27年3月に「大田原市いじめ防止基本方針」を策定し、各方面と連携し対策にあたっています。子供をはじめ市民すべての命が大切にされるためには、自分自身の存在を肯定する気持ち、また、自分とは違った人格の他者の存在を認

める気持ちを養うことが大切です。これらの思想の啓発と誰もが自殺に追い込まれることの無い社会を目指して、「いのちを大切に」する大田原市宣言を行うことは有意義なことであると考

えます。学校、家庭、職場等各方面での状況を調査し研究していきます。



高瀬 重嗣 議員

植竹教育長の教育に対する基本姿勢について

質問（高瀬重嗣 議員）
 指導者の人材育成について伺います。

答弁（教育長）
 「教育は人なり」
 良き指導者がいると、その部活動は強くなり、その学校は良くなり、学力も上がると言われています。良き師のもとに良き生徒は育つと私は考えます。そのためには、人材育成の

リーダーシップを各学校の校長先生、教頭先生に発揮してもらわなければなりません。私も初任者の頃の校長先生に育てていただいたことが、教員生活の土台となりました。

校長先生、教頭先生には、「指導力には個性があります。努力と工夫次第でそれぞれの教員が優秀な指導者になれるはずです。教師を伸ばすのは校長

先生・教頭先生次第です。あの校長先生に仕えたいという思いをもたせてください。どのような子どもを育てたいのか、どのような学校にしたいのか、そのようなビジョンをもって、教員、児童・生徒の育成にあたってください。」このようにお願いいたします。